

本 会 会 報

学会だより

◇ 平成 30 年度第 2 回運営委員会議事録

日時：2018 年 5 月 26 日（土）14:00～17:30

場所：筑波大学東京キャンパス文京校舎

出席：奥本裕，大澤良，村井耕二，寺石政義，佐々英徳，井澤毅，有村慎一，石川隆二，山田哲也（北大），畠山勝徳，吉岡洋輔，中園幹生，加藤鎌司，久保貴彦，山本敏央，久保山勉，吉田均，加賀秋人，佐藤和広，築山拓司，風間智彦【出席：21 名】

欠席：横井修司【欠席：1 名】

各運営委員からの活動経過報告の後，以下の事項について審議された。

- ① 役員 の 定義 の 再 確 認
- ② 若手 の 会 の 講演 会 前 日 開 催 に つ い て
- ③ 日 本 学 術 会 議 マ ス タ ー プ ラ ン へ の アン ケ ー ト 調 査 に つ い て
- ④ 科 研 費 等 の 口 座 開 設 に つ い て
- ⑤ 運 営 委 員 事 務 費 ， 地 域 活 動 費 に つ い て
- ⑥ 特 集 号 担 当 編 集 委 員 の 新 任 に つ い て
- ⑦ 今 後 の 開 催 日 程 ・ 開 催 予 定 に つ い て
- ⑧ 大 会 時 の 託 児 所 費 用 の 負 担 に つ い て
- ⑨ シ ン ポ ジ ウ ム 委 員 長 の 運 営 委 員 会 へ の 参 加 に つ い て
- ⑩ 優 秀 発 表 賞 の 運 営 に つ い て

◇ 平成 30 年度第 3 回運営委員会議事録

日時：2018 年 8 月 25 日（土）14:00～17:10

場所：東京大学農学部フードサイエンス棟

出席：奥本裕，大澤良，寺石政義，佐々英徳，井澤毅，有村慎一，石川隆二，山田哲也（北大），畠山勝徳，吉岡洋輔，中園幹生，横井修司，加藤鎌司，久保貴彦，山本敏央，久保山勉，吉田均，風間智彦【出席：18 名】

欠席：村井耕二，加賀秋人，佐藤和広，築山拓司【欠席：4 名】

各運営委員からの活動経過報告の後，以下の事項について審議された。

- ① 第 10 回 ア ジ ア 作 物 学 会 議 に つ い て
- ② 編 集 委 員 の 新 任 に つ い て

◇ 第 6 回代議員会議事録

日時：2018 年 9 月 21 日（金）15:00～18:00

場所：岡山大学農学部 III 号館 4F 多目的室（岡山大学津島キャンパス）

（理事・運営委員・監事・委員）

出席者：奥本裕，大澤良，村井耕二，佐々英徳，有村慎一，石川隆二，山本敏央，吉田均，築山拓司，風間智彦，富田因則【11 名】

欠席者：山田哲也（北大），吉岡洋輔，加賀秋人，経塚淳子【4 名】

（代議員）

出席者：阿部純，久保友彦，赤田辰治，岡崎桂一，高橋秀和，笹沼恒男，畠山勝徳，石本政男，田中淳一，矢野昌裕，田中剛，米丸淳一，新倉聡，房相佑，久保山勉，伊藤純一，岩田洋佳，岩崎行玄，佐藤豊（遺伝研），中園幹生，横井修司，三浦孝太郎，山根京子，石井尊生，宅見薫雄，加藤鎌司，辻本壽，佐藤和広，久保貴彦，田浦悟，宮原克典，寺石政義【32 名】

欠席者（代議員・議決権行使）：加藤清明，江面浩，井澤毅，矢野健太郎，土井一行【5 名】

欠席者（代議員）：高牟禮逸朗，中村郁郎，平野博之【3 名】

議長：代表理事（奥本会長）

議事録：運営委員（庶務担当 総務第二）

出席者数は代議員会の定足数（20）を満たしていた。

1. 報告事項

（ア）運営委員報告（各運営委員）

総務：会員数の推移・学会誌発行部数・HP 更新・メール配信数・契約・代議員の交代

科研費：BS・シンポ科研費

農学会：農学会シンポジウム等

地域：各地域活動報告

会計：中間決算報告

編集：編集状況

集会：今大会開催準備状況・次大会開催予定

2018 年秋季大会（第 134 回講演会・第 60 回シンポジウム）

開催地：岡山大 大会運営委員長：加藤鎌司氏

日程：9 月 21 日（金）代議員会

9 月 22 日（土）一般講演，シンポジウム・ワークショップ，懇親会

9 月 23 日（日）一般講演

9 月 24 日（月）市民公開シンポジウム「おいしい作物の誕生物語—果樹王国・岡山で品種改良を考える—」

2019 年春季大会（第 135 回講演会・第 69 回総会）

開催地：千葉大 大会運営委員長：中村郁郎氏

日程：3 月 15 日（金）代議員会

3 月 16 日（土）一般講演，総会，受賞講演，懇親会

3 月 17 日（日）一般講演，グループ研究集会

（イ）その他

HP へのプライバシーポリシー掲載について
環境省による「ゲノム編集技術の利用により得られた生物のカルタヘナ法上の整理および取扱い方針について(案)」に関する意見募集について

2. 審議事項

(ア) 通常決議議案：平成 30 年度日本育種学会賞の選考について

学会賞等選考委員長より以下の 3 課題の日本育種学会賞候補の推薦理由について説明があった。

(1) 福岡修一(農研機構・次世代作物開発研究センター)

「イネのいもち病圃場抵抗性に関する分子育種学的研究」

(2) 岩手生物工学研究センターゲノム育種研究グループ

(寺内良平, 阿部陽, 高木宏樹)(岩手生物工学研究センター等)

「全ゲノム情報をもちいた突然変異遺伝子および QTL 同定法の開発とその活用」

(3) 農研機構・北海道農業研究センター・ダットンソバ品種

「満天きらり」育成グループ(代表 鈴木達郎)

「苦味の無いダットンソバ品種「満天きらり」の育成」

投票の結果, 代議員出席者の 3 分の 2 以上の賛成票を得て 3 件とも承認された。

(イ) 通常決議議案：平成 30 年度日本育種学会奨励賞の選考について

学会賞等選考委員長より以下の 3 課題の日本育種学会奨励賞候補の推薦理由について説明があった。

(1) 小出陽平(北海道大学大学院農学研究院)「イネ種間雑種の生殖隔離障壁の打破に関する遺伝育種学的研究」

(2) 柿崎智博(農研機構・野菜花き研究部門)「アブラナ科野菜の農業形質に関する分子遺伝学的解析とその育種への展開」

(3) 吉川貴徳(京都大学大学院農学研究科)「作物における葉の形態形成および juvenile-adult 相転換に関する分子育種学的研究」

投票の結果, 代議員出席者の 3 分の 2 以上の賛成票を得て 3 件とも承認された。

(ウ) 編集委員の新任について

Bao-Rong Lu 氏の新任が承認された。

3. その他

(ア) 関連報告

日本学術会議, シンポジウム委員会, 男女共同参画推進委員会, 記者発表, JABEE 公益財団法人農学会技術者教育推進委員会より報告があった。

(イ) その他

優秀発表賞の投票について

運営委員(総務担当)より, 講演会の優秀発表賞の投票について説明があった。

◇ 第 134 回講演会選定課題記者発表報告

発表日時：平成 30 年 9 月 14 日(金)

発表場所：東京大学農学部一号館 1F 新会議室

出席者：村井耕二, 有村慎一

参加機関：日経 BP, 日本農業新聞, 化学工業日報, 読売新聞, 日経新聞, 科学新聞社

講演タイトル：

(1) 413 「ダイズにおけるゲノム編集を用いたアレルゲン遺伝子の変異誘発」

菅野燹太¹, 安達康平¹, 廣瀬亜矢¹, 金刺佑平¹, 丸山伸之², 阿部純¹, 山田哲也¹ (1. 北大院農, 2. 京大院農)

(2) 503 「日長感性細胞質雄性不稔(PCMS)を利用した放任受粉により得られたハイブリッドコムギ系統の農業形質」

村井耕二¹, 竹之内悠², 石川直幸³ (1. 福井県大・生物資源, 2. ホクレン農総研, 3. 農研機構・西日本農研)

(3) P041 「QTL 集積による富山県早生基幹品種「てんたかく」の出穂期および粒厚の改良」

山口琢也¹, 溝淵律子², 田口文緒², 福岡修一², 北澤則之², 伊山幸秀³, 藤田健司⁴ (1. 富山県農林水産総合技術センター, 2. 農研機構, 3. 高岡農林振興センター, 4. 新川農林振興センター)

◇ 第 134 回講演会日本育種学会優秀発表賞報告

2018 年日本育種学会秋季大会(第 134 回講演会)における日本育種学会優秀発表賞が下記の 10 課題に決定された。

講演番号 205：イネ雑種不稔遺伝子 S1 の中立対立遺伝子作出と原因遺伝子の特定

☆小出陽平¹, 荻野篤史¹, 吉川貴徳^{2,3}, 北嶋ゆき¹, 齋藤希¹, 金岡義高¹, 大西一光⁴, 吉竹良洋², 築山拓司², 齊藤大樹^{2,5}, 寺石政義², 山形悦透⁶, 植村亜衣子⁷, 高木宏樹⁷, 林依子⁸, 阿部知子⁸, 福田善通⁵, 奥本裕², 金澤章¹ (1. 北大, 2. 京大, 3. 吉備国際大, 4. 帯広畜産大, 5. 国際農林水産業研究センター, 6. 九大, 7. 岩手生工研, 8. 理研)

講演番号 203：ジャポニカ型栽培イネ(日本晴)の非脱粒性に関する新規遺伝子座の離層形成への効果

☆杉山昇平, 辻村雄紀, 大塚宏太郎, Htun Than Myint, 石井尊生, 石川亮(神戸大・院・農学)

講演番号 213：オオムギ側列小花の極端な発達抑制による大粒化

☆佐久間俊¹, 小松田隆夫² (1. 鳥取大学農学部, 2. 農研機構)

講演番号 209：自家不和合性シロイヌナズナを用いた自家不和合性形質における高温の影響の解析

☆山本雅也¹, 西村健司², 北柴大泰¹, 坂本亘², 西尾剛¹ (1. 東北大学大学院農学研究科植物遺伝育種学分野, 2. 岡山大学資源植物科学研究所光環境適応研究グループ)

講演番号 505 : Exome sequencing に基づく日本のウメの遺伝的多様性について

☆沼口孝司^{1,2}, 赤木剛士^{3,4}, 北村祐人¹, 大江孝明¹, 石川亮², 石井尊生² (1. 和歌山・果樹試・うめ研, 2. 神戸大・院・農学, 3. 京都大・院・農学, 4. JST・さきがけ)

講演番号 P040 : ゲノムワイドアソシエーション研究 (GWAS) のための最適な解析集団はどのように選ぶべきか : イネ遺伝資源の全ゲノム配列を用いたシミュレーション研究

☆濱崎甲資¹, 鐘ヶ江弘美¹, 山崎将紀², 江花薫子³, 矢部志央理⁴, 中川博視⁵, 岩田洋佳¹ (1. 東京大・院農学生命科学, 2. 神戸大院農附食資源教育研究センター, 3. 農研機構・遺伝資源センター, 4. 農研機構・次世代作物開発研究センター, 5. 農研機構・農業環境変動研究センター)

講演番号 P046 : パンコムギにおける CRISPR/Cas9 を用いた TaQsd1 全同祖遺伝子のゲノム編集 : 3. 編集ホモ系統の形質評価

☆ハク エムダドウル¹, 安倍史高¹, 林武司¹, 久野裕², 田中剛¹, 神谷容子³, 川浦香奈子³, 佐藤和広² (1. 農研機構・作物開発センター, 2. 岡山大・植物研, 3. 横浜市大・木原生研)

講演番号 109 : オオムギ超開花性突然変異体の原因遺伝子のマッピング

☆濱田裕司^{1,2}, Anwar Nadia², Ning Shunzong², Mohammad Pourkheirandish², 中川仁², 福岡修一², 佐久間俊³, 永野惇⁴, Milner Sara⁵, Mascher Martin⁵, 佐々英徳¹, 木庭卓人¹, 小松田隆夫^{1,2} (1. 千葉大・院園芸, 2. 農研機構・次世代作物開発研究セ, 3. 鳥取大・農, 4. 龍谷大・農, 5. IPK)

講演番号 307 : 長期的な洪水に適応した浮きイネの起源とその栽培化

☆黒羽剛¹, ワン ダイアン², マッコーチ スーザン², 横山隆亮¹, 西谷和彦¹, 芦荻基行³ (1. 東北大・生命科学, 2. コーネル大学, 3. 名古屋大・生物センター)

講演番号 408 : NG を PAM として認識する改変型 SpCas9 を用いた植物のゲノム編集

☆三上雅史^{1,2}, 遠藤真咲², 遠藤亮², 賀屋秀隆², 伊藤剛³, 西増弘志⁴, 濡木理⁴, 土岐精一^{1,2,5} (1. 横浜市大院・生命ナノ, 2. 農研機構・生物機能利用研究部門, 3. 農研機構・高度解析センター, 4. 東大・院理, 5. 横浜市大・木原生研)

◇ 地域談話会だより

〈北陸地区〉

北陸作物・育種学会第 55 回講演会・シンポジウムが 2018 年 7 月 18 日 (水) ~ 19 日 (木) に新潟県長岡市の長岡市シティーホールプラザで開催された。1 日目は北陸作物・育種学会賞を受賞した 3 名の受賞講演に引き続き、公開シンポジウムを開催し 6 名の演者から講演いただき、総合討論では活発な意見交換が行われた。2 日目の一般講演では 25 課題が発表された。平日の開催にもかかわらず、80 名以上の参加者があり、活発な議論が交わされた。

シンポジウムおよび一般講演の発表課題は以下の通りである。

(1) シンポジウム

「消費者の多様なニーズに応える米づくり」～業務用米の生産拡大に向けた北陸地域の取り組み～

1. 「全農が進める業務用需要向け米の契約栽培の取り組み」 栗原竜也 (全農本所米穀部)

2. 「増え続ける業務用米需要と品種開発の現状」 前田英郎 (農研機構・中央農業研究センター)

3. リーズナブルな価格の米生産を可能にする栽培技術と現地導入, 優良事例

・「高密度播種した稚苗を用いた良食味品種および多収品種の低コスト栽培」 宇野史生 (石川県農林総合研究センター)

・「新潟県における密播疎植栽培の検討」 東聡志 (新潟県作物研究センター)

・「福井県における直播栽培の面的拡大と課題について」 山口泰弘 (福井県農業試験場)

・「長野県における多収イネ品種栽培と今後の展望」 細井淳 (長野県農業試験場)

(2) 一般講演

1. 密播育苗における播種後苗箱の貯蔵技術 (第 2 報). 齋藤祐幸 ((株) クボタ 元新潟農総研)

2. 高密度播種苗を用いた移植栽培における欠株が収量構成要素・収量に及ぼす品種間差. 宇野史生・今本裕士・中村弘和・永島秀樹* (石川県農林総合研究センター)

3. 既存機械を用いた高密度播種苗の播種, 移植作業について. 上原泰*¹・青木政晴¹・森本勉² (1. 長野県農業試験場, 2. 飯田市在住)

4. ビニルハウス内における異なる被覆資材を用いた無加温出芽に及ぼす高温の影響. 宇野史生・中田敏朗* (石川県農林総合研究センター)

5. 空気搬送式直播機 (改良) を用いた水稻湛水直播における無粉衣種子の苗立ちの特徴 第 2 報 落水出芽による苗立ちへの影響. 青木政晴*¹・関正裕²・上原泰¹ (1. 長野県農業試験場, 2. 農業・食品産業技術総合研究機構)

6. 事前乾燥処理を組み合わせた新たな水稲種子温湯消毒法—富山県奨励品種を用いた実用性の検証—. 村田和優*1・尾崎秀宣1・藤田健司1†・中岡清典2・金勝一樹3 (1. 富山県農林水産総合技術センター, 2. (株) サタケ, 3. 東京農工大学, †現: 富山県新川農林振興センター)
7. 新潟県産鶏ふん堆肥ペレットを利用したコシヒカリ栽培の検討. 南雲芳文*1・小柳渉2・樋口泰浩1・中村正明1 (1. 新潟農総研作物研究センター・2. 新潟農総研畜産研究センター)
8. 水稲「やまだわら」の飼料用安定多収生産のための施肥法と刈取適期の検討. 板谷恭兵*1・長岡令1・野村幹雄2 (1. 富山県農林水産総合技術センター, 2. 富山県農業技術課)
9. 水稲高温登熟処理が米飯食味官能評価に及ぼす影響と玄米品質との関係. 板谷越重人*1・石橋俊明1・松井崇晃1・橋本憲明1・重山博信1・神戸崇2 (1. 新潟県農業総合研究所作物研究センター, 2. 新潟県長岡農業普及センター)
10. 発育予測モデルによる水稲新品種「石川 65 号」の出穂予測. 宇野史生*1・島田雅博1・吉田ひろえ2・中川博視2・塚口直史3 (1. 石川県農林総合研究センター, 2. 農業環境変動研究センター, 3. 石川県立大学)
11. 内陸性気候下での水稲極多収品種「北陸 193 号」およびその後代系統における乾物生産・収量構成要素の特徴. 細井淳*1・高松光生1・酒井長雄1・近藤始彦2・長田健二3・岡村昌樹4 (1. 長野農業試, 2. 名古屋大学, 3. 西日本農研セ, 4. 中央農研セ)
12. 尿素葉面散布を利用した開花期追肥が新潟県で栽培した「ゆきちから」の子実タンパク質含有率に及ぼす影響. 島崎由美*・渋川洋・関正裕 (農研機構・中央農業研究センター北陸研究拠点)
13. パン用小麦品種ゆきちからの子実灰分に及ぼすリンの影響. 渋川洋*・島崎由美・関正裕 (農研機構・中央農業研究センター)
14. 播種方法および心土破砕間隔の違いが大麥の苗立ちに及ぼす影響. 吉田翔伍・今本裕士・中村徳孝・吉藤昭紀* (石川県農林総合研究センター)
15. 中央農業研究センター生産力検定試験におけるオオムギ品種・系統のβ-グルカン含量. 関昌子*・中田克・青木秀之・長嶺敬 (農研機構・中央農業研究センター)
16. 炭素線照射によりデンプンの特性が変化したオオムギ変異体のスクリーニング. 中田克*1・関昌子1・青木秀之1・高城啓一2・長嶺敬1 (1. 農研機構・中央農研, 2. 若狭湾エネルギー研究センター)
17. もち大麥系統「北陸裸糯 64 号」判別用 DNA マーカーの開発. 青木秀之*・関昌子・中田克・長嶺敬 (中央農業研究センター・作物開発研究領域)
18. 長野県のダイズ作における帰化アサガオ類の発生実態および除草剤による防除効果. 丸山翔太*・青木政晴 (長野県農業試験場)

19. ソーラーシェアリングを想定した大豆に対する直達光遮光栽培の影響. 藤田与一*1・樋口泰浩1・川上修1・南雲芳文1・山田昇2 (1. 新潟農総研作物研究センター, 2. 長岡技術科学大学)
20. ダイズの栽植密度が収量および品質に及ぼす影響. 丹保彩香*1・今本裕士2・吉田翔伍2・塚口直史3 (1. 石川県立大学大学院, 2. 石川県農林総合研究センター, 3. 石川県立大学)
21. 北陸地域向け大豆多収系統開発に向けた取り組み. 河野雄飛 (中央農業研究センター作物開発研究領域)
22. さばえ大黒大豆の生産拡大と品質向上. 石川武之甫 (元福井県農業試験場)
23. 前作スイートコーン品種の違いがキャベツ根こぶ病回避効果におよぼす影響. 西幸大斗*・野々村豪二・井口江菜・志津野匡人・松永慎太郎・岡部繭子 (信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター)
24. 能登大納言小豆の低収要因に関する研究. 松谷瑛 (石川県農林総合研究センター)
25. 秋ソバ「とよむすめ」の晩播における追肥の効果. 伊藤誠治 (中央農研・北陸研究拠点)

＜中部地区＞

第 26 回育種学会中部地区談話会が、2018 年 10 月 28 日（日）に愛知教育大学教育未来館にて開催された。特別講演 2 題および 22 題のポスター発表が行われ、中部地域 5 県の大学・研究機関からの 71 名の参加者間で活発な質疑・意見が交わされた。また、一般講演については、参加者全員による投票で優秀ポスター賞を選定し、2 題に授与するなど、互いの成果をたたえ合いつつ盛況の内に幕を閉じた。

発表課題は以下の通りである。

特別講演 1：キャベツ育種の現状と課題～育種現場から知り得たこと～

野崎忠規 氏 (渡辺農事株式会社 農場長)

特別講演 2：イネにおける根の発生分化と形態形成の遺伝的制御に関する研究～愛教大・北野研から始まった研生活活を振り返って～

犬飼義明 氏 (名古屋大学農学国際教育センター 教授)

ポスター発表

1. シンクロトロン光照射によるカーネーションの突然変異育種方法の開発 ○松野純子¹, 戸田浩子¹, 山口徳之², 新井和俊¹ (1. 愛知県農総試, 2. 愛知県農総試山間農業研究所)

2. イネの極早生遺伝子のマッピング及びコシヒカリの遺伝的背景における sd1 との組合せ ○小原悠輔, 富田因則 (静岡大学グリーン科学技術研究所)

3. 楕円フリーエ記述子を用いたチャ葉形状の定量と機

- 械学習による品種判別 ○山下寛人^{1,3}, 片井秀幸², 森田明雄³, 一家崇志³ (1. 岐阜大学大学院連合農学研究科, 2. 静岡県茶業研究センター, 3. 静岡大学農学部)
4. イネ品種 NERICA4 における *Gn1a* および *WFP* 遺伝子の一穂粒数増加アレル導入の効果 ○Vincent P. Reyes^{1,2}, Rosalyn B. Angeles-Shim^{2,3}, Ruby S. Lapis², Junghyun Shim², 春原英彦¹, Kshirod K. Jena², 芦荻基行³, 土井一行¹ (1. 名大院生命農学, 2. IRRI, 3. 名大生物機能開発利用研究センター)
5. イネ F₂ 弱勢分離集団における水耕栽培を用いた根長の QTL 解析 ○Than Kutay Soe¹, 國枝真依¹, 春原英彦¹, 田崎三香子¹, 鈴木竜², 西内俊策^{1,3}, 土井一行¹ (1. 名大院生命農学, 2. 名大農, 3. JST さきがけ)
6. 玄米の外観に基づく品質評価モデルの作成 ○塩川貫太¹, 土井一行¹, 西内俊策^{1,2} (1. 名大院生命農学, 2. JST さきがけ)
7. チャ (*Camellia sinensis*) の二次胚形成能を利用した形質転換および培養物の発現解析 ○山木海人¹, 小泉舞衣¹, 林裕二³, 一家崇志², 森田明雄², 古川一実³ (1. 沼津工業高等専門学校専攻科, 2. 静岡大学学術院農学領域, 3. 沼津工業高等専門学校物質工学科)
8. チャ (茶樹) の形質転換におけるアグロバクテリウムの過剰増殖と抗菌作用 ○望月秀斗¹, 山木海人², 折原玲美¹, 寺前香里³, 一家崇志⁴, 森田明雄⁴, 古川一実¹ (1. 沼津工業高等専門学校, 2. 沼津工業高等専門学校専攻科, 3. 静岡大学大学院総合科学技術研究科, 4. 静岡大学学術院農学領域)
9. 緑茶品種の不定胚誘導を目的とした *in vitro* 挿し木および葉表皮培養 ○稲葉蒼一郎, 古川一実 (沼津工業高等専門学校)
10. ニホンハッカ (薄荷: *Mentha arvensis*) の細胞育種の試み ○井出莉那¹, 坂内一貴¹, 富岡雅矢^{1,2}, 古川一実¹ (1. 沼津工業高等専門学校物質工学科, 2. 高知大学理学部)
11. Analysis of radial oxygen loss (ROL) barrier in the lateral roots of rice ○Siti Noorohmah, Hirokazu Takahashi, Yusuke Kurokawa, Mikio Nakazono (Graduated School of Bioagricultural Sciences, Nagoya University)
12. イネの根における誘導的通气組織形成の調節因子の機能解析 ○石井陽大¹, 山内卓樹², 高橋宏和¹, 吉岡美樹¹, 吉岡博文¹, 中園幹生¹ (1. 名古屋大学大学院生命農学研究科, 2. 東京大学大学院農学生命科学研究科)
13. イネの *ida* 変異体における側根の発達及び伸長に関する解析 ○渥美紗綾¹, 清水春衣², 高橋宏和², 鈴木俊哉³, 志水 (佐藤) 佐江³, 佐藤豊³, 中園幹生² (1. 名古屋大学農学部, 2. 名大・院生命農学, 3. 遺伝研)
14. *Zea nicaraguensis* における酸素漏出バリア形成能の遺伝学的解析 ○中山洋平¹, 渡邊宏太郎¹, 井出健斗¹, 黒川裕介¹, 高橋宏和¹, 高橋秀和², Timothy D. Colmer³, Ole Pedersen⁴, 大森史恵⁵, 間野吉郎⁵, 中園

- 幹生¹ (1. 名大院生命農, 2. 秋田県立大・生物資源科学部, 3. 西オーストラリア大学, 4. コペンハーゲン大学, 5. 農研機構・畜産研究部門)
15. ダイズの二次通气組織形成における脱分化と再分化機構の解明 ○馬場唯菜¹, 中園幹生², 高橋宏和² (1. 名古屋大学農学部, 2. 名古屋大学大学院生命農学研究科)
16. イネにおけるオーキシン分布による側根メリステムサイズ制御機構の解析 ○河合翼¹, 高橋宏和¹, 辻寛之², 佐藤萌子², 中園幹生¹, 山内章¹, 犬飼義明^{3,4} (1. 名大・院生命農学, 2. 横浜市大・木原生研, 3. 名大・農国センター, 4. JST・さきがけ)
17. スイートソルガムの糖性及び開花期の遺伝学的解析 ○丹羽佑介¹, 中村 (荒木) 聡子², 南山将輝³, 篠原 (大前) 梢², 川口秀夫⁴, 三浦孝太郎⁵, 春日重光⁶, 佐塚隆志² (1. 名大・院生命農, 2. 名大・生物機能開発利用研究センター, 3. 名大・農, 4. 神大・院科学技術イノベーション, 5. 福井県立大・生物資源, 6. 信大・農学部 AFC)
18. 早期に獲得した子房を用いた子房培養によるコショウ苗生産の早期化の可能性 ○宮地佑恭, 岩田あさ美, 亀山美里, 中野有紗, 加藤淳太郎 (愛知教育大学)
19. コムギ近縁野生種 *Aegilops longissima* と *Ae. sharonensis* における穂の形態的二型の QTL マッピング ○富田淳¹, 山根京子¹, 太田敦士² (1. 岐大応生, 2. 京大院農)
20. 葉緑体全ゲノム比較による日本のワサビ属植物の系統解析および品種判別マーカーの作成 ○羽賀夏子¹, 小林正明², 道木菜那¹, 高野知之², 小林恵子¹, 矢野健太郎², 山根京子¹ (1. 岐大応生, 2. 明大農)
21. 滋賀県における野生ワサビの保全事例とその活用に関する研究 ○國島聡史, 山根京子 (岐大応生)
22. 普通ソバ (*Fagopyrum esculentum*) における高ルチン含量優良系統の育成 (4) ○松島憲一¹, 馬場真優子^{2,3}, 谷口岳志⁴, 山口秀和⁴, 後藤和美⁴, 根本和洋¹, 坂井邑嘉⁵, 南峰夫⁵ (1. 信州大学学術研究院農学系, 2. 信州大学大学院総合理工学研究科, 3. 味覚糖 (株), 4. 長野県野菜花き研究所, 5. 信州大学農学部)



ポスター賞を受賞されたお二人
左: 羽賀夏子さん (岐阜大学)
右: 丹羽佑介さん (名古屋大学)



集合写真

日本育種学会会員異動(2018.4.21～2018.10.20)

◇普通会員入会：芦田（吉田）かなえ，大塚しおり（北海道），宮本尚子（岩手），黒羽剛（宮城），大槻並枝，田中伸裕，根岸克弥，野田祐作，平賀勸（茨城），GHELFI ANDREA，原田大士朗（千葉），河野優（東京），越水静，土屋徳司（神奈川），福田あかり（新潟），小島洋一郎（富山），師田郷太（長野），貫井秀樹（静岡），鈴木一代（愛知），山口博隆（三重），三木哲弘（香川），池上秀利，田中幹大（福岡），オーンチューウン（沖縄）
 ◇学生会員入会：大久保めぐみ，木村芽生，國吉大地，城下結，菅野奨太（北海道），土田大介（秋田），千葉翔子（山形），BAKTI CITRA（茨城），アデュース ポクサムエル，濱田裕司（千葉），児玉明日香，シム ジュンウン，蔣明金，並木愛海，八田大成，平田明日香，味谷雅之（東京），SAFI MOHAMMAD TAHEB，AHMADZAI WAISUDDIN，SUKAOUN KANOKNIPA，渡邊亮介（神奈川），佐藤庄人，原淳史（新潟），伊藤徳昭，瀬川天太

（石川），佐藤くるみ，中澤南海（長野），富田淳（岐阜），寺前香里，山木海人（静岡），成瀬敏也，林知宏，牛来智香，丹羽佑介（愛知），福山敬（大阪），上園倅輔，窪田芳生，杉山昇平，谷尾侑香，宮崎直哉（兵庫），児玉翼，宮本和紀（鳥取），ZAKIYAH NUR MEILI（広島），NGUEN THO PHI PHUONG，NWE SAW MYAT（福岡）

◇外国会員入会：HERNANDEZ JARQUIN JUAN DIEGO（アメリカ），MAHMOUD AHMED MOHAMMED ALY（エジプト），GICHUHI EMILY WARINGA（ケニア），三木大介（中国）

住所変更等

◇普通会員：小田俊介，川口謙二（北海道），森下敏和，笹川由紀（茨城），鈴木保宏，和久井健司（神奈川），佐藤洋一郎，丹野研一（京都），桧原健一郎（兵庫），皆川（紀平）望帆（奈良），佐久間俊（鳥取），山本敏央（岡山）

◇学生会員：戸田絵梨香（東京）

訂正

育種学研究第 19 巻第 4 号 p.189 に記載された代議員議事録の内容に誤りがございましたので，下記の通り訂正いたします。

誤）欧州ブドウの食味を持ち，栽培容易な大型ブドウ品種「シャインマスカット」の育成

正）欧州ブドウの食味を持ち，栽培容易な大粒ブドウ品種「シャインマスカット」の育成